

## 環境学習のご相談について

「総合の学習の時間」などでの、環境学習の内容や実施方法、講師、教材、活動場所、環境学習施設など環境学習の実施についてのご相談と、必要に応じた関係者のマッチング調整をはじめ、授業への参加や出前授業を行います。

### 【特徴】

- 幅広いネットワークから学習内容に適したプログラムのご紹介と外部講師や活動場所の調整などの支援を受けることができます。
- 外部講師との調整に要する時間・労力を軽減することができます。
- 学習内容を精査することで、より継続的・発展的な学習にすることができます。

学校の先生、企業の研修担当者や CSR 担当者など、様々な立場の方からの相談をお受けしています。

### 【令和4年度の池田市内小学校での事例】

各事例の詳細は、池田地域まるごと環境学習の[「令和4（2022）年度の出前授業実施事例」](#)をご覧ください。

先生方の希望に応じたプログラムをカスタマイズして提供します！

#### 事例1 池田小小学校、五月丘小学校 6年生 総合の学習の時間「平和学習」の支援

修学旅行で戦争資料館の見学した後、池田市の戦争の様子や被害などについて、戦争体験者の話を聞く場を設定。



#### 事例2 神田小学校 3年生 『畑ではたらく人びとの仕事』

単元：社会「畑ではたらく人びとの仕事」総合の学習の時間 「校区の野菜を学ぼう」

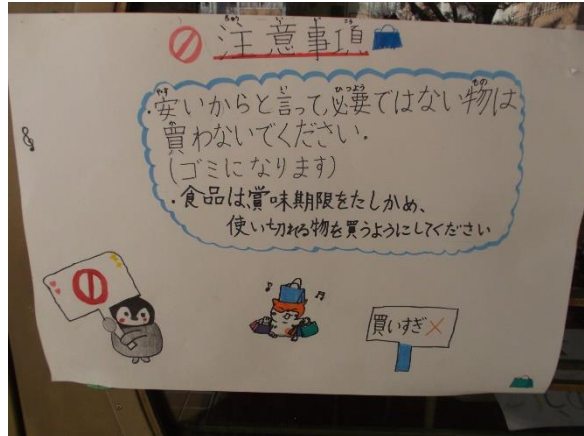
校区で農業をされている方の畑を見学して、お話や体験を支援。





### 事例3 呉服小学校4年生 「総合の学習の時間」授業の年間を通じた伴走支援

- ・先生との学習相談会の実施
  - ・猪名川レンジャー出前授業の調整と同行。
  - ・SDG s をテーマとした学習の支援（廃油石けん作り授業の実施、エコマートの支援）
- 4年生のすべてのクラスでSDG s の学習に取り組みその成果を地域の方々と一緒に「エコマート」という形で共有しました。



### 事例4 緑丘小学校5年生 「総合の学習の時間」授業の年間を通じた伴走支援

校庭にあるビオトープの再生活動に子どもたちが3年生の時に一度取り組み、それから2年経過した5年生で再度チャレンジしました。活動の3つのテーマの頭文字をとって「みどりっ子トープ」と名づけました。

- 『み』みんなが気軽に立ち寄れる
- 『ど』どんないきものでもすごしやすい
- 『り』理想の環境が維持できる事
- ・ビオトープ管理士の方や生き物専門の外部有識者の紹介
- ・地域の方々との連携支援

